

夏の肌環境は外的刺激に満ちている

紫外線だけじゃない！ マイクロダスト^{®*}、冷房による乾燥、汗、皮脂など
夏は外的刺激が折り重なりやすい季節。

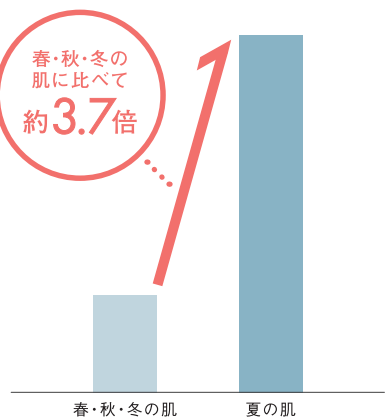
マイクロダスト^{®*}

PM2.5を含むマイクロダスト^{®*}は直接肌に入り込んで角層状態を悪化させ、バリア機能が低下するなど、将来的にさまざまなトラブルの原因になることもあります。

マイクロダスト^{®*}付着量が増加！

汗や皮脂の分泌による影響で、夏の肌は他の季節と比較するとマイクロダスト^{®*}の付着量が約3.7倍に。

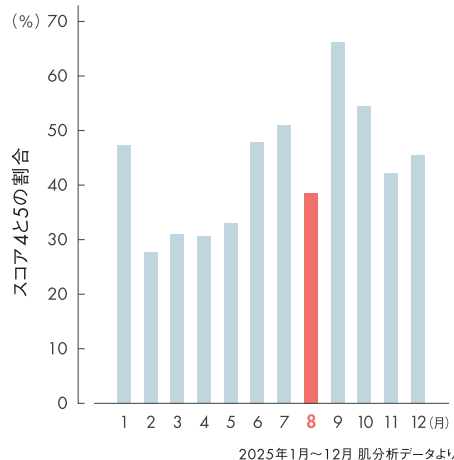
大気汚染物質などの肌への付着量



8月はマイクロダスト^{®*}抵抗力が弱い傾向

8月のマイクロダスト^{®*}抵抗力の良い人(スコア4と5)の割合は、前後の月(7月・9月)に比べてへこんでいる。春だけと思っていると思わぬ落とし穴が。

マイクロダスト^{®*}抵抗力



紫外線・近赤外線

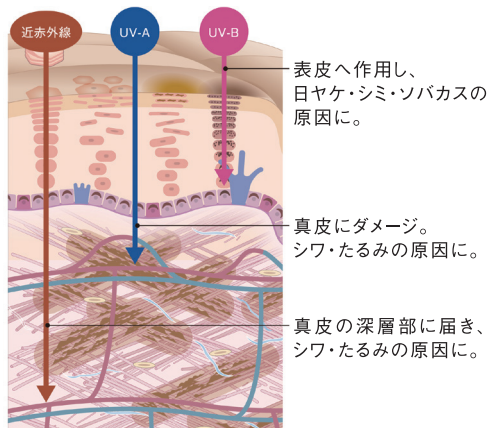
UV-A / UV-B

太陽光に含まれる紫外線(UV-A・UV-B)、近赤外線は、3月から急上昇し、8月にピークを迎え、肌にさまざまなダメージを与えます。

表皮・真皮にダメージを与える

UV-Bは表皮にダメージを与え、UV-Aは真皮まで届きます。どちらも日焼け・シミ・ソバカスやシワ・たるみの原因の一つに。さらに近赤外線によって、より深い真皮(コラーゲン線維等)にダメージを与えられます。

太陽光による肌へのダメージ



紫外線により乾燥が進む！

紫外線の影響で角層・表皮が真皮の水分が失われると、その水分を補うために真皮の水分が吸い上げられ、「真皮水分不足」が起こると考えられます。

紫外線照射による肌の水分蒸散率

